

宗教家たちの競艶

Faith

フェイス/ゼロ





勝者
「豊聡耳神子」

先ほどは
お見事でした

あの魔理沙
相手に手も足も
出させないとは



もはや敵無し
という感じが
しますね

太子様なら
そう仰られると
思い

新しい信者の
準備も整えて
おきました

おお、それは
有難い...



ふふ...



本日は一段と
遅い者が
多く集まって
おります

先ほどの
太子様の
戦いぶりにも
大層興奮して
おります

また、
なんでも
女照りの
ようで...

ほう...



確かに...

この欲は
いやかでは
ないな...

さっそく
信仰を
頂こうか...

あれは君達の
助力があつた
からさ...

また慢心せず
精進しない
とな...

ああ…
神子様が…
まさかこんな



宗教戦争に
おいて

私の力の源は
「欲」…

ふふっ
こんなに
猛つて…

そんなに
私に興奮
したのか？



待って…
俺のなんて
汚いです

あっ
香

さぞや
苦しい
だろう

はっ



信者が
私に對して
抱いた欲が

あ…
楽しんで
あげよう…
今すぐ

そのまま
力となる



くおっ…舌が
貪欲に…

特に男性の
性欲は顕著で
ありー

はっ
神子ッ…

神子様…

「女を最大限
利用しない手
はなかった」



はあッ
ふふッ
濃いのが
出たな...

あの神子様
が
ザーメン
まみれた...

俺も...
して...
欲しい...

遠慮せず
どんどん
来るが良い



あぁッ
てるッ

射精るツ!!



私への
帰属意識も
高まり...

出ます...
綺麗な...
お顔に...

欲の声を
聞き...

適度に肉欲を
開放してやれば

んっッ...
いいぞ...
好きな所に
ぶっかけて

美しい
太子様の
尻...うっ

心さえも
簡単に
掌握できる



口内を犯す
だけでは
留まらない
絶倫
このような

神子様が…
俺の…
また勃起
しちまう…

おあ
ザーメン…
吸ってるう…

はあ
はあ



しかし
例外は
ある…

ああっ…
またイッ…!!

おああ
………

喉に
射精る



ああ…
神子様…

ふふ…
元気だな
君達は…



おさまらない
ならば
仕方ないな…



留まることを
知らぬ肉欲は

崇める
対象すら
欲し始める

穴に
入れなきゃ
おさまらねえ

まだ欲が
溜まっている
とは…

出した
ばかりで

もう我慢
できない

ハメてえ…
神子様に…

このような
手合いには

その高慢な
欲...

私が絞り
出してやろう

徹底的に
搾り取って

覚悟しろ：
私の膣内は

くお...!!
膣肉に
しゃぶられ

骨抜きに
してやれば
良い

とんでもなく
気持ち良いぞ

くう...
神子の
マ○コ

すさまじい
欲...

!!子宮に
届く...

はあん

身体が
昂ぶって
くる...

彼ら欲は少し強すぎる...

あはっ
どうだ
私の穴は...

溜まったものを
さっさと
出してしまえ

欲に
負けない
ように
せねば

七重
の
穴

くう
フリケツ
たまんねえ

!?

私のほうが
もたない...

俺にも
早く穴も
ほじらせて
ください...

うん
ダメだ
ほじる...

ケツ穴
ますよ

ダメだっ

それは待って
く...

待て...

っあ...
急に締め
すぎ...

れっ...



同時
射精……

まさか
だけた
で……



もう
射精
るっ……

うっ
射精
る……

——
!!



……
屈
して
しま
う



否
応
無
く
注
ぎ
込
ま
れ
る
ザ
ー
メ
ン……

不
意
打
ち
で
こ
の
よ
う
に
は
排
泄
さ
れ
て
は

へ
へ
っ
あ
の
神
子
様
を
イ
っ
て
や
が
る
ど
ん
ど
ん
い
く
ぞ
ん
オ
ラ
ッ



おお...
イクぞ

迂闊にも
主導権を
握られた
私は

成す術なく
陵辱を
受けた...

また子宮に
直出し
するっ

オライクぞ...
止めの
射精イクッ

おおお
...



その日は
全て膈内で
射精され

合計二十回
にも及ぶ
子宮排泄を
受け止めた



孕めっ
孕め...!!

俺の精子で
孕め...

妊娠させる
ことしか
考えてない
射精……

へへっ
神子様も
良い顔
だせ……

あまりに
一方的な
このような
欲だが

意思統一が
……？

これは
ある意味

俺が孕ませて
やる……

妊娠
しろ……

妊娠
しろ

絶対俺が
孕ませる

赤ちゃん……
赤ちゃん……

彼らを
掌握できたの
だろうか……

本日は
ありがとうございました

また新たな
信仰形態が
できたな……

今日より
神子様に
お仕え
致します

今後とも
よろしく
お願いします

いや……
すまない
待たせたな

つたく
遅かったわね
待ちくたびれた
わよ?

は?

幾分準備が
必要だった
のでな

対戦日
当日



私を慕う者の
為にも……

負ける
わけには
いかぬ

なによ

気味の
悪い……



さあ



我を
崇めよ!!



宗教家たちの競艶

Faith \emptyset

フェイス/ゼロ

外套だけ
羽織らせる
なんて

本当
でいやらしい人
ですね

地主さんは

宗教とは、

はあ はあ
たまらんよ……
はあ

その実
中身は政治である



それを
最も効率よく
行う方法は――



大きな信仰を
得るには



権力者を
抑える事



そうして
しまえば

残りは芋づるだ



そして

哀れな事に



権力者とは
得てして好色で――



誠に浅く――

相変わらず
すげえ法力だ……

意馬心猿である

何度射精しても
射精し足りねえ



へへっ
わかってますよ
そのためにうちの土地の
者はほとんど仏門に
入れたんじゃないですか

だから

なあ



こんな艶事が
味わえるのも

貴方の信仰あつて
のことだということをお
忘れなく



アレ

させて
くださいよ

……

いいでしょう





出た出た



大体 こんなどろとろに 出来上がった スケベな子宮を 犯せるってのに



繰り返しますが

こんな事が 出来るのも 貴方ー



のっ!?



わかってるって 言ってるだろ



信仰して
おねるかよっ！



る!?



さつき
膣内射精した
精液で

いつも以上に
蕩けてやがー





なんだあ？

子宮を
犯してんのに

奥に
吸い付いてくる
穴が……



こりや

この雌

卵管で
精液オネダリ
しながら

卵管か!?

そんなアへ顔に
なつてんのか!?





いつちまええ！

んっ女如女如
女如女！！！！

女如心

女如

いつもより
随分
射精しました
ね……

へへっ

あんな箇所
オネダリ
されちゃあなあw

この数寄者を
喜ばせるために
始めた行為なのに

もう

子宮姦を期待して
しまっている
私がある……

次も
楽しみに
しますよ

聖さま

……

次……

はい

この地が
仏の御威光を
拝み続ける
限りは……

次が
早く来て
しまいそうです……

